### 都立8病院の主な公的医療とベッド数

	主な重点的医療	ベッド数
		171 20
大塚病院	周産期、小児特殊医療、障害者	508床
	医療、災害	
墨東病院	救命救急、周産期、精神科救急、	765床
	感染症、災害	
駒込病院	がん、幹細胞移植、エイズ・感	815床
	染症、災害	
広尾病院	救命救急、災害、島しょ、心臓、	426床
	脳疾患、災害基幹	
松沢病院		898床
	精神科(身体合併症、救急、特殊)	
多摩総合医療センター	救命救急、周産期、難病、結核、	789床
	がん、移行期医療、災害	
小児総合医療センター	救命救急、周産期、がん、精神、	561床
	難病、アレルギー、結核、災害	
神経病院	難病(神経、筋疾患)	304床
	我仍(仲化、加力大志)	

# 「地方独立行政法人」とは

| 2003年に国が成立した「地方独立行政法人法」| に基づき、地方公共団体が直接に実施する必要のな | い事業のうち、民間では実施されないおそれがある | ものを、効率的に行わせることを目的として、地方 | 公共団体が設立する法人。対象事業は、試験研究、 | 大学、水道、バス、病院、保育所や介護施設などの | 社会福祉など広範囲。

- 「①公的責任があいまいとなり、採算優先で住民サー」 「ビスが後退する可能性あり
- | ②議会の関与チェックが弱まり後退する可能性あり
- | ③情報公開や住民監査などが保障されず、不透明な | 運営による利権や汚職の温床となる可能性あり
- 「④職員の身分が公務員でなくなることによる賃金・」 「労働条件が後退する可能性あり

## すでに独法化された病院では

#### <国立病院機構>

不採算医療が削られ、結核病床は全体 の7割におよぶ3千床を減少し、精神病 床は2千床も減少。

## <大阪府立病院機構>

紹介状のない患者の初診料、セカンドオピニオン料などが値上げ。1日の有料個室料7500円が最高59000円に。

- <宮城県立循環器呼吸器センター> 医師不足などの理由で昨年3月閉院
- く健康長寿医療センター> (板橋区)

都からの補助金が半減し病床は161床削減され、そのうち25%が有料の差額ベッドとなり一日最高26000円に。また都立病院ではあり得ないが、入院時には10万円の保証金が徴収される。

# 【パブコメの提出方法】

送り先:東京都病院経営本部経営企画部 総務課 計画調整担当 宛

件名:「新たな病院運営改革ビジョン(素案)への意見」

記載事項:住所(区市町村まで。番地は不要です)

性別、年齢、職業および御意見

特筆:氏名は不要…個人情報であるからとのこと

提出期限:2月7日(金)まで

①郵送 〒 163-8001 新宿区西新宿 2-8-1

② FAX 03-5388-1435

③電子メール

metro-hospital004@section.metro.tokyo.jp (004 は数字です)

\*素案は病院経営本部ホームページで閲覧できます

都議会議長様

# 都立病院を直営で充実させ、 地方独立行政法人化をやめてください

都立病院は、創立以来都民のいのちを守る砦として役割を果たしてきました。

特に民間病院では不採算で行えない医療=「行政的医療(災害・感染症・精神科救急・小児特殊医療・難病・島しょ医療など)」という特別の医療や都民のいのちを守る医療をおこない、東京都もそれに必要な予算を支出し、地域医療を守ってきました。

ところが、東京都は、都立病院を直営ではなく、地方独立行政法人など東京都から切り離す検討を始めています。 地方独立行政法人になれば、経済性が優先され、独立採算が求められ、患者負担が増えることになります。

既に地方独立行政法人化された東京都健康長寿医療センターでは、全病床の1/4が有料個室になり使用する場合には入院時に10万円の保証金が徴収されます。これでは安心して治療を受けることはできません。

独立採算制になると東京都からのくり入れ金に頼らない経営が求められ、医師や看護師などは公務員でなくなり、安心して働き続けられる条件が奪われかねません。

少子高齢化社会を迎える今こそ、お金の心配なく都民が、いつでもだれでも、安心して医療が受けられるよう、 以下の要請をおこないます。

- <sup>請願事項</sup> 1. 東京都が責任を持って都立病院を運営し、地方独立行政法人化をやめてください。
  - 2. 都立病院を充実し、患者負担を減らせる都予算を投入してください。

(「同上」と「〃」と記入すると無効になります)

氏 名	住 所

呼びかけ団体 都立病院の充実を求める連絡会 連絡先・署名送り先 〒 170-0005 東京都豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館 5 階 E メール: thei41822@blue.ocn.ne.jp